

水でたどる歴史とあゆみ

水源を木曽川に(上田氏)



上田敏郎

明治35年愛知県技師の上田敏郎を囑託技師に任じて水道布設調査を依頼しました。上田氏は入鹿池を水源とするバルトン氏の案を廃し、現在の水道のもととなる木曽川を水源とする「上水道布設調査報告書」を明治36年12月に提出しました。

同年12月に水道布設の実施を市会に諮問しましたが、まもなく日露戦争が勃発したため一時棚上げの形となってしまいました。

日露戦争が終わった後、水道の総工事費592万円(修正後518万円、当時の市の総予算の約5倍)は、空前の大事業でしたが、

明治39年6月水道布設を議会で議決しました。



創設時の取水口

上田計画案



名古屋市の歴代マンホールのふた

戦時中の補充ふた

戦時中に採用されました。物資が不足した戦時中には、よく鉄製のふたが盗まれたので、その対策としてふたの表面に大きく「下水」の文字を入れてあります。



水の歴史資料館
HISTORICAL MUSEUM OF WATERWORKS AND SEWERAGE

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
休館日：月曜日(休日の場合は直後の平日)

伊勢湾台風60年企画展開催中(詳しくは資料館HPまで)